

新潟県立長岡聾学校

きこえ通信

令和5年度 第1号

新潟県立長岡聾学校通級指導教室

〒940-0093 長岡市水道町 2-1-13

TEL 0258-38-0210 (通級指導教室)

*不在の場合は5コールほどで代表へ繋がります。

FAX 0258-39-5665

e-mail school@nagaokarou.nein.ed.jp

発行：令和5年4月



ここ最近の難聴のある人が登場するドラマのヒットにより、難聴のある人や手話、UDトークなどの支援ツールが広く知られました。難聴のある人へ関心をもっていただけることは、難聴のある児童生徒の支援に関わる立場としては、うれしく思います。きこえには個人差があり、地域の学校に在籍する難聴のある児童生徒について、より理解していただきたく、近隣の学校の先生方へ「きこえ通信」を発信させていただきます。主に次のように考えています。



1 難聴のある児童生徒への理解を広めたい。

難聴は理解されにくい障害です。1000人に2~3人とされていて、数も少ない方です。難聴がある児童生徒は、一見、困っていないように見えることもありますが、学習内容や生活していく上で必要なことが伝わっていないことがあります。現在、難聴のある児童生徒の在籍する学校の先生方は、児童生徒を理解して必要な支援をしてくださっています。改めて支援について情報共有できるとありがたいです。

2 きこえにくさがある場合に、支援に繋がることができるよう。

当校は、地域のセンター的機能として、きこえ相談を行っています。きこえにくさがある場合、相談に来られた方に受診を勧め、学習や生活での工夫などをお伝えしています。毎年健康診断はきこえについて知る大切な機会です。中には、片耳難聴(一側性難聴)や軽度難聴の場合、支援や受診に繋がりにくいことがあります。しかし、きこえにくさをそのままにしていると、学習やコミュニケーションに困り感をもつ場合があります。学校の先生方に日頃の授業等で「もしかしたらきこえで困っているのでは?」と気づいていただくと、ありがたいです。

3 難聴の予防のために。

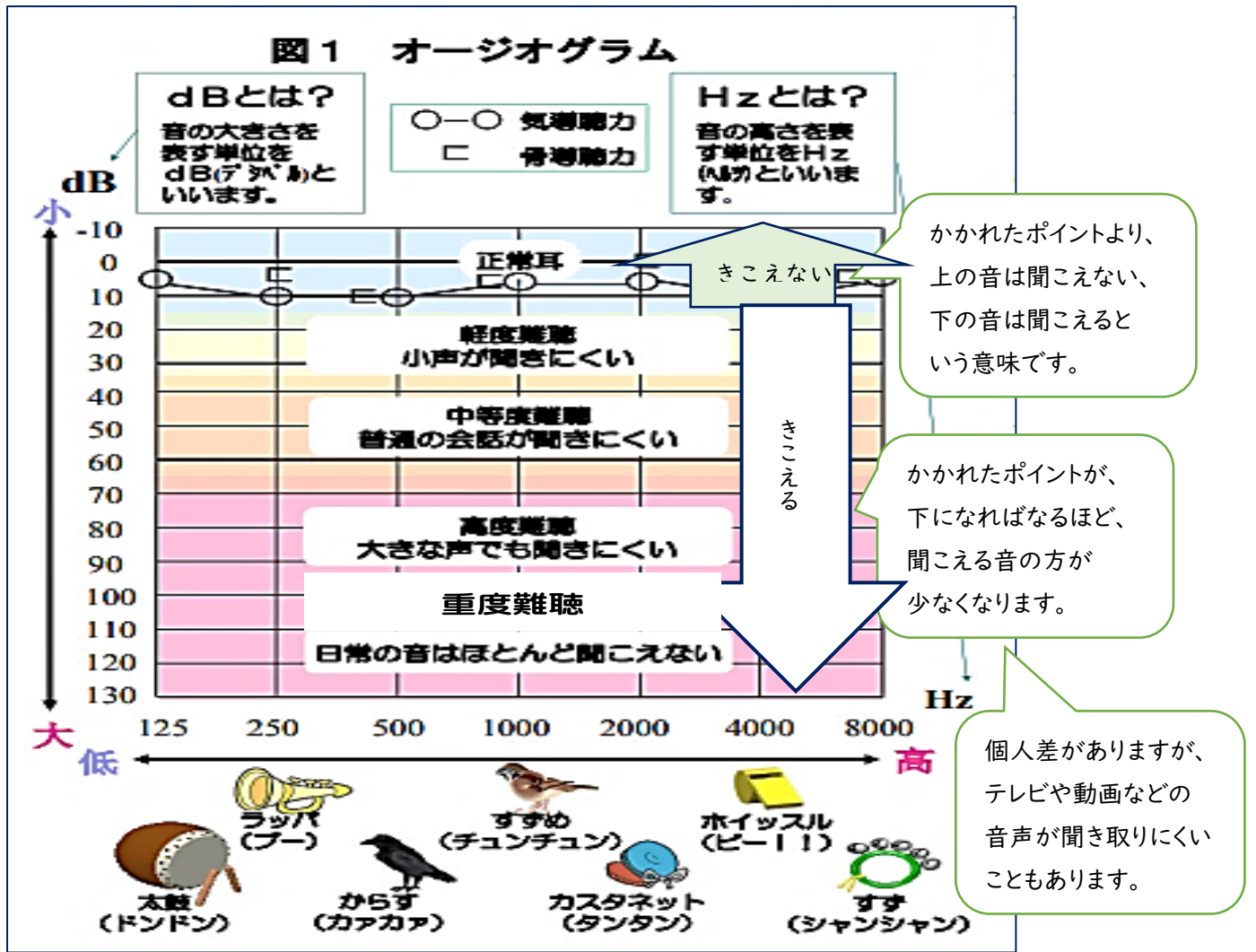
ここ数年、何回か報道されたので「ヘッドホン難聴」をご存じの方もいらっしゃると思います(下記参照)。コロナ禍のため、自宅でヘッドホンやイヤホンで音楽を聴く人が増えました。また、スマートフォンなど音楽を手軽に聴ける媒体が増加しています。一定以上の音量を近くで聞き続けると、耳を痛めてしまい、聞こえにくくなる場合があります。予防できることなどもありますので、このようなきこえの情報をお伝えしたいと思います。

朝日新聞デジタルより 藤原学思 2019年2月13日 9時55分

若者の2人に1人に難聴のリスク——。スマートフォンやMP3プレーヤーで大音量で音楽を聴く若者の増加を懸念し、世界保健機関(WHO)と国際電気通信連合(ITU)は12日、音楽再生機器の使用に関する国際基準を公表した。

きこえ方について(麻生病院 HPより)

聴力を病院などで調べると、このようなグラフ(オーディオグラム)をもらうことがあります。



次のような話し方だと、聞き取りやすいようです。該当児童生徒とも相談してください。

前から

後ろからは聞き取りにくいです。

ゆっくり

早口のイメージ

KIKOELIFE HPより

一人ずつ

特にグループ学習など。

文字も使う

文字の情報があると良い場合もあります。

当校は、長岡市と近隣地域の中学生を対象としています。
小学生は、長岡市立千手小学校の難聴通級(きこえの教室)へ通っています。
通級生徒の学習や生活がスムーズにいくように、生徒本人、保護者の方、在籍校の先生方と協力していきます。
また、このたよりが届く先生方からのご相談にも応じたいと思います。
どうぞよろしくお願いいたします。

